



集会は自民、公明、民主、共産の政党、大阪市地域振興会、大阪市商店会総連盟、日本商工連盟大阪地区などの団体、市民の幅広い参加で成功した

共同の力の勝利!

大阪市の解体を住民投票で否決

橋下・維新の会の野望を打ち破る



投票日が迫る中、5月10日に扇町公園で開催された集会には「大阪市をなくすな! 住民投票で反対を」の呼びかけに、立場の違いを超えて5000人以上が参加した

大阪市の廃止し、5つの特別区に分割することの是非を問う住民投票が5月17日に行われ、反対多数で大阪市の存続が決まりました。

大阪自治労連は「大阪市をなくすな」「市民のくらし守れ」と全力でたたかいました。また、自民党・公明党・民主党・共産党の市議会4会派をはじめ、医師会・地域振興会・商店会総連盟などとの草の根からの共同の広がりの中で、勝利を勝ち取りました。

藤井寺市職労 新入組合員

板原 洋介さん(左)
北野 良宜さん(右)
(保育士)



休日は「サイクリングで大阪市や奈良へ出かけたり」(板原)「名阪スポーツランドで車を走らせてます」(北野)、二人には「走る」という共通の趣味が

府内の自治体では、今年も4月に数多くの新入職員が採用され、住民に向き合いそれぞれの職場で奮闘しています。その中で、藤井寺市に初めての男性保育士として採用された板原洋介さんと北野良宜さんの二人にこれらの抱負などを語ってもらいました。

市職労に加入した理由については「保育士の先輩たちはみんな入っているし、労働条件を守ります。」
市職労に加入した理由については「保育士の先輩たちはみんな入っているし、労働条件を守ります。」

仕事を終えて現れた二人は同じ職場の同僚です。板原さんは3歳児、北野さんは2歳児を担当しています。保育士を選んだ理由を聞かせてもらうと、すぐさま二人から「子どもが好きだから」と返事が。

「子どもが好きだから」—これが2人の「原点」

二人は6月からの「河南労働学校」にも市職労の仲間と受講します。藤井寺の保育所だけでなく市職労に新しい風を吹かすことを感じさせる二人でした。

藤井寺市で初めて男性保育士として採用された二人。入所式の紹介では、保護者からも「めずらしい」の反応があったようですが、今では一人の保育士として子どもや保護者ともしっかりと向き合い、忙しい毎日を過ごしています。板原さんは「男性保育士のパイオニアになれるようがんばりたい」、北野さんは「男性保育士として、お父さんの代わりになれたら」と抱負を語ります。

藤井寺で初めての男性保育士
入所式では保護者から
めずらしがられました

市民と自分のためにええ仕事がしたい 第19回職場・職種別交流集会

6月20日(土)13:30(受付13:00)~21日(日)16:30
シティプラザ大阪 参加費 2,000円~10,000円

記念講演 「憲法をくらしに活かす自治体・公務労働者の役割」(仮題)
岡庭 一雄さん(前阿智村村長)

新入職員歓迎 WELCOME PARTY

道頓堀ホテル
6月28日(日)18:00~20:00 (地下鉄なんば駅下車)

新採職員は参加費無料! 問い合わせは各労働組合の事務所へ